Japanese Unexamined Utility Model Application Publication No. S50-27079

Inventor

: Koji ARAI

Applicant

: Nihon Denso Kabushiki Kaisha

Application No.

: S45-136163

Filing Date

: December 27, 1970

Publication Date : August 12, 1975

Title of Invention : AUTOMOBILE ELECTRIC PARTS CONTAINER

Claim 1

An automobile electric parts container in which a case is engaged with a base plate, which is adapted to accommodate automobile electric parts, so as to cover the automobile electric parts, wherein a groove is formed in an inner side of the case, which becomes a lowermost portion in a state of being mounted, by making a thickness of the case be thin, and a clearance for water removal is formed by the groove in the fitting portion between the base plate and the case.

昭50-27079 **①英用新案出願公告**

実用新案公報

必公告 昭和50年(1975) 8月 12日 **宁内** 依息番号 6927-36

(全4頁)

图自動車用電気部品収納容器

昭45(1970)12月27日 昭45-136163 (E)

荒井弘司 兟 的

為谷市昭和 1の1日本国被株式 会社内

刈谷市昭和101 日本電裝株式会社 < 匮 # (3)

図面の簡単な説明

なる容器の一英梅例を示 ナ平面図、第3図はその 正商図、第 4図は第 2図の A - A断面図、第 5図 図図示の容器の取付状態を示す断面図、第7図か をボナ防菌図で、図中同一作時は同一もしくは均 第1図は従来容器の断面図、第2図は本地策に Lび第B図は本考案容器の案出過程における構造 辞制がかがす

本地窓はブザー、リレー特の自動車用缸気部品 を収納する容器に関するものである。 **考案の詳細な説明**

く電気部品を支持するペース板1に、前記電気部 るが、このよりな容器は一般に自動車エンジンル - 4内のごとく 単窒外に 取付けられるため、 洗菓 従来のこの樋の容器として杜第1図に示すごと

風が生じた。

あり、この場合に前記ケース2とペース板1との 時、降雨時等にかいては多畳の水をかぶることが **ナ恐れがあつた。また、この種ケースは自動車内** 即の狭い空間内に収納されるため値カコンパクト であることが要求され、水抜き穴を設けたことに よりケース内に収納される自動車用電気部品が前 停備したりして内部の電気部品に作動不良を起こ 記水拡大を閉塞し、値配質気部品の腐食、故障と

が要求される自動車用電気部品にとつて致命的な

欠陥となる。

第7回かよび第8回に示すごとき構造を試作して そとで考案者は、水抜き穴を備える構造として

しかるに、無1因にて示す構造のものはペーメ 板本体1 gの破下端に水抜き穴となる切欠き1 d をペース型成型時に同時に設けたものであるが、 5 4 to

路すると水が掛水されず、また歴気を有する空気 切欠き 1 dはペーメ板本体 1 a の 1 部を切欠いて 設けてあるためペース板本体1gの自動車用電気 記切欠き1dを収納された電気部品の端面化て閉 部品取付スペース (有効スペース)が減少し、 煎 がケース内に停滞して腐食、絶験劣化をきたし、

は與2図のB-B断面図、第6図は第2図~第5 15 重大々欠陥を生じる。従つて、有効メベーメが凌 少するのみてなく設計者および組付担当者におら て常に前記切欠きldが閉塞されぬように留意す ることが必要となる。女に、第8図にて示す構造 のものはケース2の段下端面を外方向に増曲させ 20 ペース板本体1 aの取付有効スペースを確保する ものであるが、間隙1を形成したために最大外形 の形成化て生じた角部(凸部)2gが目立ち、 や つかくコンパクトで、かつ、外観の良いケースが 寸法の増加をきたし、しかも、外観的にも間勝り

品を被うようにケース2を嵌合してなるものがあ 25 水抜き用の間隙 7 を設けたためにデザインを損な で、かり、不要な最大中祇の増加を招くとて9間

外方に突出せしめて間筋をつくる代わりに散当部 嵌合部より水が侵入したり、湿気をかびた空気が 30 分のケース肉厚を一部簿くすれば、デサイン的に 本考案は上記問題点に鑑み、ケースの下端面を また、一部の内厚を輝くするのみであるからケー 1. ロて外形寸法が大きくなひたり、単体の短動に 35 して格部を設けベーメ板本体との間に水の抜ける 間隙を散け、ケースの通気状態を良くすると共に ケース内部に役入した水を有効に排除できること は勿論、設計、組付の不良によつて水板を用の間 日立ち不要な外形中法の増加をきたナ角部がなく ケース最下部に位置するケース内側に肉厚を薄く スの強度は英用上何ら問題がないことに着目し、

かつ、恒気部品による間豚の閉塞を防止でき、股 ケースの内側に散ケースの内厚を描くすることに より降部を殴け、駁降部によりた値配ペース板と 前記ケースとの篏合部に聞踪を形成したから、ベ ース板の角気部の取り右右数メベースを減少をおげ 以下本考案を図に示す英稿例について説明する。5 デザイン的にも優れた自動車用電気部品収納容器 **資を閉塞することがなく最大外形寸法を極力小さ** くしてョンパクト化し、かつ、このことにょつて 第2図~第6図におひて、1はペース板で、プサ

を提供することを目的とするものである。

東公 昭50-27079

3

計、組付において煩雑となる間吸閉塞に対する留 **策を不要とし、又削隊を設けてもケースの外形は** る外形寸法の増大、外部聚固に現われる角部(奥 起)をなくしたから陷力コンパクト化でき、かつ、 このことにょつたデザイン的に優れたケースを得 木を多位にかぶり、内部に紋木が殺入してもこの 水柱的配階版より外部に落下し、かつ蚊配酸によ **四欧 か 担 し か 2 形 の 形 状 か か む か ナ し ト 恒 級 ド ェ** ることができ、町尺、玳母麻、降屈辱勢にかって して、ケース内部と外気が油油されている為に限 気をおびた空気がケース内部に停備することはな く、従ひて内部の短剣郎品の行動不良を未然に防 止することができるといり優れた効果がある。 の専用新来登録説状の範囲 **した形成したある。2 なペーメ板1 FB 位わり 10** 門ヒンツ町314公耳を随めて輝く(0.3 ma強限) 15 ヒンジ部3を介して一体形成されており、前記へ **町えばポリプロピレンにより形成してあひて、** 柏 **木凹部 5 K嵌まり込むことにょつてケー×2のベ たれに気的品を被りケースで、値配ベース板しと** - ス板1 かよびケース 2 は弾性を有する合成樹脂 bを有する取付部1cとより一体形成されてな 7、 放取付割1 c 付前配本体1 a K 対し殴付きを 周に数個所設けた突起で、ケーメ2の内側に設け - 毎の喧気部品が固定される本体1 a と、取付穴 4 吐蚊 6 図Kボナごとく ペース板 1 の本体 1 a 外 することにょつてヒンジの作用を持たせている。

き用の間膜を設けたことを特徴とする自動車用電 自動車用電気部品を収納するベーメ板に、値配 自動車用電気部品収券容器でおった、取付状態時 **に段下前となる前記ケースの内側に放ケースの内 した 色問ふ - メ核 ヵ 哲問ケ - メ み の 銀 中 B に 犬 校** 自動車用電気部品を被うよりにケースを嵌合した **厚を輝くすることにょり群部を設け、鼓群部によ** 乳即品収的容器。 - 7板1への嵌合結合を行なりものてある。6は.20 **数けてある。10.8 は前記ペース板1を車体125**

数付状態にかった最下部に位配するケーメ2の国

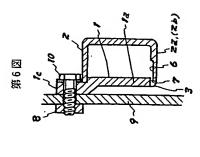
角部2g・2bの内側に散けた隣部で、ペーメ板

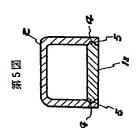
1 との間に間隙 7 が形成されるようにナるもので あり、前記ケース 2の内厚を蹲くすることにより、 りなる被取付体9に取付けるためのポルトか上び

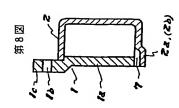
破りようにケースに嵌合してなる自動車用電気制 30 以上述べたよりに存地院になってれ、自動車用 電気部品を支持するペース板に、前記電気部品を 品収約容器におって、取付状態時に最下部となる

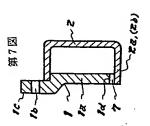
公 昭44-11662 **991用文献**

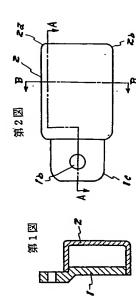
いつた財野を招けば特に自動車の安全上高信頼性

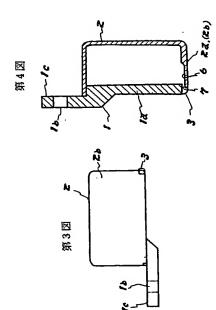












-117